

令和元年 11 月 29 日

令和元年度病害虫発生予察特殊報（第 4 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名 : *Singapora shinshana* (Matsumura) (和名なし)
(ヨコバイ科の一種)

2. 作物名 : ウメ

3. 発生地域 : 田辺市、日高郡みなべ町

4. 発生確認の経過および県内外での発生状況

本年 9 月、田辺市においてウメの葉を加害するヒメヨコバイ類の成虫および幼虫が発見された。この成虫の同定を九州大学大学院農学研究院 紙谷聡志博士に依頼した結果、*Singapora shinshana* (Matsumura) であることが判明した。その後の調査で、本種による被害は日高郡みなべ町でも確認された。

本種の発生は、国内では沖縄県で確認されているが、本県での発生は初めてである。海外では、中国、台湾、韓国および北朝鮮で確認されている。

5. 形態および生態

成虫の体色は黄緑色で、体長は 3 ~ 3.5mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある (図 1)。

本種はウメ、モモ、ナシ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている (Cao ら, 2014)。

6. 被害の特徴

成虫および幼虫が葉を加害する。多数の細かい吸汁痕により、葉の表面が白っぽく見える (図 2)。被害葉の裏側に幼虫の脱皮殻が付着する (図 3)。吸汁された葉は、落葉することがある。

7. 防除対策

1) 本種に対して適用のある農薬はない。

2) 被害葉の早期発見に努め、発見した場合は速やかに被害葉を除去し適切に処分する。



図1. 成虫（矢印は頭頂部の黒点がある位置）



図2. ウメの被害葉



図3. ウメの葉裏に付着した脱皮殻

和歌山県農作物病害虫防除所みなべ駐在
電話：0739(74)3780